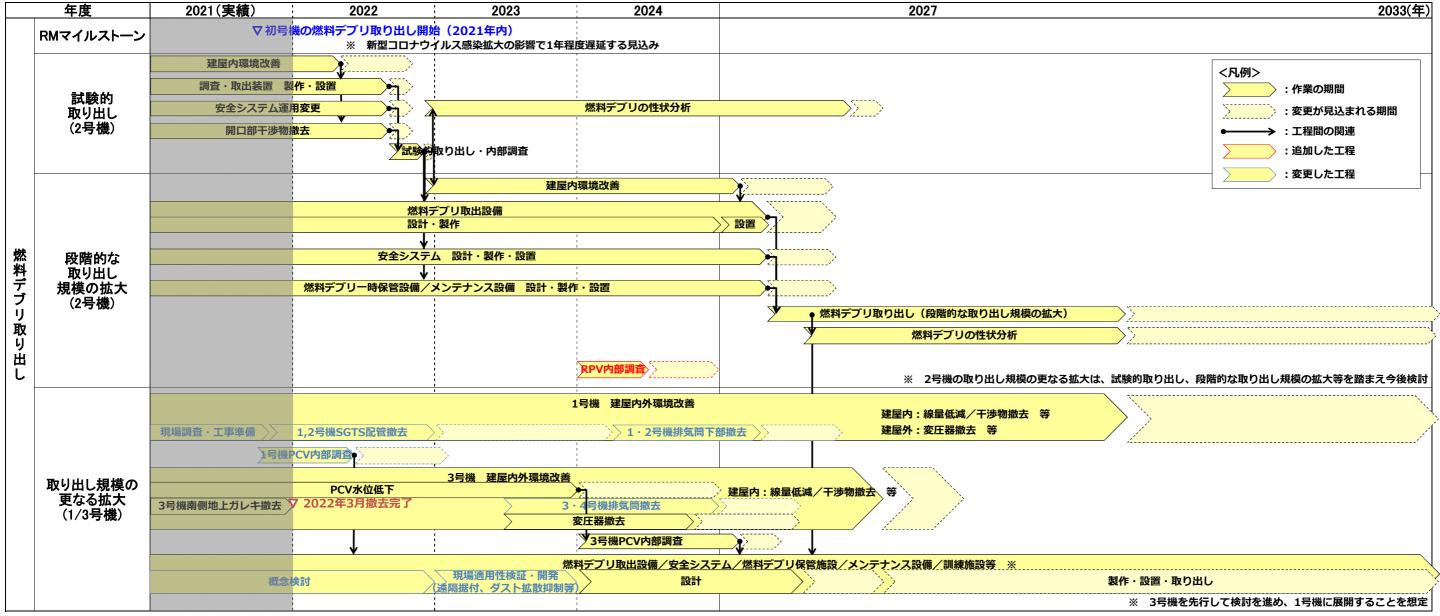


燃料デブリ取り出し準備・スケジュール													20
分 野 廃炉中長期実行プラン2022 括 日標工程 り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	7月	8月		9月		10月	11月	1 2月	1月	2月以降	備考
RP>\PC>健全性維持	圧力容器 /格納容器の 健全性維持	(実 績)	24 5	では、「できない。」」では、「できない。」では、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	の治存酸素低減)			## T T T T T T T T T T T T T T T T T T				(業続実施)	
炉心状況把握	炉心状况 把握	(実 績)	2号機燃料取扱機 事前準備。現場確認 調査実施	事故関連factデータベースの更新 炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新 操作室調査	調査実施(追加)	時期開整中						(継続実施)	O2号機燃料取扱機操作室調査 【主要工程 ・事前準備・現場確認 '22/7/5~'22/7/22 ・調査実施 '22/7/17~'22/8/4 ・調査実施 (施加) '22/8/24~
・ 取出後の燃料デブリの処理・ 処分方法の決定に向けた取り組み・ 処分方法の決定に向けた取り組み・ 処分 を取り組みを といる はいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます かいます か	燃料デブリ 性状把握	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等(継続) (多 定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等(継続)		【研究開発】 燃料デブリの性状把握のための分析 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術								(継続実施)	
取り出し準備燃料デブリ語界管理技術の開発	燃料デブリ 臨界管理 技術の開発	(実 績) ○ (研究開発] 臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発(継統 ・ 臨界防止技術の開発(継続) ・ 臨界防止技術の開発(継続) ・ 未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発 ・ 未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発(継統) ・ 臨界防止技術の開発(継続)		【研究開発】「燃料デブリ・炉内構造物の取り出しに ・末臨界度測定・臨界近接監視のための ・観界防止技術の開発	向けた技術の開発」の一部として実施 技術開発							(継続実施)	
●段階的な取り出し規模の拡大(2号機) を表示しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	燃料デブリ 収納・移送・保管 技術の開発	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応(継続) 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発(継続) (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応(継続) 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発(継続)		【研究開発】粉状、スラリー・スラッジ (粉状及びスラリー・スラッジの調査、 (粉状及びスラリー・スラッジの調査、 (研究開発】燃料デブリ収納・移送・6 (乾燥技術/システムの開発)	分析等)							(継続実施)	

廃炉中長期実行プラン2022



注: 今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る